

中津市民病院化学療法レジメン

【レジメンNo】H-64

申請日	2024/4/8	承認日	2024/4/8	委員長	印
レジメン登録日	2024/7/10	仮承認日		承認者	印

Dra(sc)Bd 4～8コース目	病名	多発性骨髄腫	血液内 科	医師名	Dr
対象	前治療歴を有する再発又は難治性の多発性骨髄腫				

薬剤商品名 (一般名)	投与量 (mg/m ² 等)	投与方法 div. iv. po等	投与スケジュール (日)											
			1	4	5	8	10	11	15	20	25	30		
ダラキューロ (ダラツムマブ・ ボルヒアルロニダーゼアルファ)	1800mg/Body	sc	○											
ボルテゾミブ	1.3mg/m ²	sc	○		○		○		○					
デカドロン錠 (デキサメタゾン)	20mg/Body	po	○	○	○	○	○	○						
投与間隔・休薬期間等：21日＝1コース 5コースまで その後、【H-65】Dra(sc)Bd 9コース目以降へ移行する ダラキューロは3週に1回投与、ボルテゾミブはday1.4.8.11投与。21日間を1コースとする デキサメタゾンは、週に80mg/body投与(3週目は除く)														

【投与処方例 (前投薬など)】

Day1

レスタミンコーワ錠10mg 4錠
カロナール500mg 2錠

/po.ダラキューロ投与60分前

Day1. 2. 4. 5. 8. 9. 11. 12

デカドロン錠4mg 5錠(分1 朝食後)

※ダラキューロ投与開始60分前やボルテゾミブのみの投与日は治療開始30分前に内服
上記薬を投与しない日は朝食後に内服すること

Day1

- ① ダラキューロ /皮下注 5分(腹壁部周囲の推奨範囲に)
- ② 生理食塩液1.2mL+ボルテゾミブ /皮下注

Day4. 8. 11

- ① 生理食塩液1.2mL+ボルテゾミブ /皮下注

【肝機能障害による減量基準】

※ボルテゾミブ

軽度肝障害：調製不要

中等～重度肝障害：0.7mg/m²から開始し、忍容性を確認

増量の場合：1mg/m²へ

減量の場合：0.5mg/m²へ

【デカドロンの減量基準】

75歳以上、過小体重(BMI:18.5kg/m²未満)、コントロール不良の糖尿病またはステロイドに対する忍容性がない、もしくは有害事象が発現した患者には、デカドロンを週20mg/Bodyの投与も可能。

【検査等確認事項】

心肺に及ぼす影響	本レジメン開始前に心エコー・心電図検査と間質性肺炎、肺線維症などの精査のために
肺に及ぼす影響	間質性肺炎、肺線維症などの精査のためにCT検査を実施
輸血に及ぼす影響	治療開始前に不規則抗体スクリーニング検査を含めた一般的な輸血前検査を実施すること。 不規則抗体を持たない患者でも偽陽性になることがあり、本剤治療中及び 最終投与から6ヶ月後まで続く可能性がある。

【注意すること】

ダラキューロは臍から左右に約7.5cmの腹部皮下に、ダラキューロ約15mLを5分かけて投与を行う。
感染症への対策として、帯状疱疹の予防で抗ウイルス薬・PCP予防でST合剤の内服を行う